

## 外郭団体評価調書【株式会社用】

## 1. 基本情報

令和4年7月1日 現在

団体名	株式会社 エフエム新津		
所在地	新潟市秋葉区新津東町2丁目5番6号		
代表者(職・氏名) (所属・職)	代表取締役社長 前田 正実	電話番号	0250-23-5000
	(有)新津清掃社 代表取締役社長	ホームページ	www.chat761.com/
市所管課	秋葉区役所 地域総務課	電子メール	mail@chat761.com
基本財産 (基本金)	68,000 千円	設立年月日	平成6年4月7日
出資者	氏名・団体等名称	出資等額	出資等比率
	新潟市	39,000 千円	57.4 %
	日佑電子(株)	2,000 千円	2.9 %
	セコム上信越(株)	2,000 千円	2.9 %
	新潟かがやき農業協同組合	2,000 千円	2.9 %
	(株)諸橋工務店	2,000 千円	2.9 %
その他(20団体)	21,000 千円	31.0 %	
設立目的	旧郵政省の「中央と地方との情報格差是正・地域の活性化促進を目的とした1市町村1波の周波数割当許可」という指針のもと、住民参加による地域に密着した情報を提供することにより、「地域の振興」「公共の福祉増進」「地域の防災」に寄与する。 とりわけ、「地域の防災」機能に重点を置き、住民生活の安全性の確保に役立てることを第一の目的とする。		
経営理念 経営方針	＜経営理念＞ ・「地域」に根ざし、「地域防災」に役立ち、「地域文化」を創造する。 ・「ラジオメディア」の便利さや楽しさ・快適さを、柔軟な感性で発想する。 ・新潟市域を舞台に、身近なラジオ局として市民や企業とともに多様な企画を実践する。 ＜経営方針＞ ・公平性 ・健全な組織、健全な財務運営 ・放送法等諸法令の遵守(コンプライアンス) ・地域社会への貢献とそれによる職員の幸せの追求		

## 2. 主要事業

事業名①	放送時間の販売事業							
事業概要	(概要) 放送番組及びCMの提供							
	(市政へどのように寄与・貢献するのか) 地域内のお店や会社の紹介など身近な情報の発信を通して、市内を中心とした地域の活性化							
事業区分	主体区分	収支区分	単位	予算・決算	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
-	-	収入額	千円	予算	35,000	35,500	37,000	38,000
				決算	35,385	36,522	38,857	-
活動指標①	年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由			
スポットCM本数 (概数)	R4	本	22,700					
	R3	本	22,600	22,700	季節スポットCMの増加			
	R2	本	22,500	22,600	季節スポットCMの増加			
	R1	本	22,500	22,500	概ね計画通り			
活動指標②	年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由			
タイム・放送番組 及びCM本数 (概数)	R4	本	7,400					
	R3	本	7,400	7,400	概ね計画通り			
	R2	本	7,400	7,400	概ね計画通り			
	R1	本	7,400	7,400	概ね計画通り			
活動指標③	年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由			
	R4							
	R3							
	R2							
	R1							
所管課の関わり及び 主要事業にかかる評価	所管課からは行政情報番組、スポットCM、選挙広報CM放送など委託した。営業活動強化により、スポットCMが増加した。							

## 2. 主要事業

事業名②	放送番組等の制作事業							
事業概要	(概要) 放送番組及びCM素材・番組表・イベント等の制作							
	(市政へどのように寄与・貢献するのか) 市に係るような情報発信を含めた番組やCMを制作し発信することにより地域に認知してもらう。							
事業区分	主体区分	収支区分	単位	予算・決算	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
-	-	収入額	千円	予算	2,000	1,500	700	800
				決算	2,239	639	650	-
活動指標①	年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由			
放送番組及びCM 素材の制作本数	R4	本	17					
	R3	本	15	17	新規スポンサーや素材変更の微増			
	R2	本	15	15	概ね計画通り			
	R1	本	17	15	過大計上			
活動指標②	年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由			
番組表・イベント 等の制作本数	R4	本	20					
	R3	本	15	15	概ね計画通り			
	R2	本	20	15	新型コロナウイルス感染症により減少			
	R1	本	20	20	概ね計画通り			
活動指標③	年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由			
	R4							
	R3							
	R2							
	R1							

所管課の関わり及び  
主要事業にかかる評価

コロナ対策の啓発の為、新規CM作成を依頼した。コロナの影響が大きくイベント等の数が未だ減少したままではあるが、少しずつではあるが持ち直してきている

## 2. 主要事業

事業名③	その他事業							
事業概要	(概要) 令和3年度イベントの司会受託他 イベントの音響設備受託							
	(市政へどのように寄与・貢献するのか) 地元を盛り上げるイベントの司会、音響設備受託による地域活性化							
事業区分	主体区分	収支区分	単位	予算・決算	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
-	-	収入額	千円	予算	1,500	1,500	500	700
				決算	1,540	480	480	-
活動指標①	年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由			
司会・音響設備 受託数  補助金の受託	R4	本	15					
	R3	本	10	8	新型コロナウイルス感染症により 令和2年度と同等			
	R2	本	20	8	新型コロナウイルス感染症により イベント中止が相次ぎ減少			
	R1	本	22	23	ラグビーワールドカップ関係イ ベントの司会など			
活動指標②	年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由			
	R4							
	R3							
	R2							
	R1							
活動指標③	年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由			
	R4							
	R3							
	R2							
	R1							

所管課の関わり及び  
主要事業にかかる評価

所管課から区の各所属にエフエム新津の活用を促しているが、新型コロナウイルス感染症によるイベントの開催状況により前年度同様となった。

## 3. 組織等の状況

## (1) 役職員数の状況

令和4年7月1日 現在 (単位:人)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
役員数	6	6	5	6
常勤	1	0	0	1
市派遣				
市職員OB				
プロパー役員	1			1
他団体からの派遣				
非常勤	5	6	5	5
市兼任	1	1	1	1
市職員OB				
他団体兼任	4	4	4	4
その他		1		
職員数	5	5	6	4
常勤	4	5	5	3
市派遣				
市職員OB				
プロパー職員	4	5	5	3
他団体からの派遣				
非常勤	1	0	1	1
市兼任				
市職員OB				
他団体兼任				
その他臨時・嘱託等	1		1	1
見直し等の取組み				

## (2) 職員の状況 (市派遣職員を除く。)

令和4年7月1日 現在 (単位:人)

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
職員の状況	管理職	1	1	1	2
	一般職	5	4	5	3
	合計	6	5	6	5
年齢構成	20代以下	1	1	1	1
	30代	1	2	1	1
	40代	2	1	1	1
	50代			3	2
	60代以上	2	1		
	合計	6	5	6	5



## 4. 財務の状況

## (1) 損益計算書

(決算 単位：千円)

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
経常損益	営業損益	営業収益(売上高)	38,796	38,086	39,055
		営業費用	38,753	35,937	36,418
		売上原価			
		事業費	22,679	21,923	28,321
		販売費・一般管理費	16,074	14,014	8,097
	営業損益	43	2,149	2,637	
	営業外損益	営業外収益	370	282	9
		営業外費用	19	73	4
		営業外損益	351	209	5
	経常損益		394	2,358	2,642
損特別	特別利益	37		0	
	特別損失			0	
	特別損益	37	0	0	
税引前当期損益		431	2,358	2,642	
法人税、住民税及び事業税		180	180	180	
当期損益		251	2,178	2,462	
前期繰越損益		▲ 27,600	▲ 27,349	▲ 25,171	
当期末処分損益		▲ 27,349	▲ 25,171	▲ 22,709	
処利分益	利益処分額				
	次期繰越損益	▲ 27,349	▲ 25,171	▲ 22,709	

## (参考)

(決算 単位：千円)

(別掲)人件費	16,369	13,625	15,178
役員分	2,760	460	0
職員分	13,609	13,165	15,178

## (2) 貸借対照表

(決算 単位：千円)

		令和元年度	令和2年度	令和3年度
資産の部	資産の部合計	38,527	53,368	52,802
	流動資産	35,586	48,536	43,475
	現金預金	29,336	40,196	35,677
	受取手形			
	未収金	6,287	8,280	7,843
	有価証券			
	その他流動資産	▲ 37	60	▲ 45
	固定資産	2,941	4,832	9,327
	有形固定資産	2,224	4,105	8,461
	無形固定資産	546	546	546
その他投資等	171	181	320	
負債の部	負債の部合計	1,877	14,539	11,511
	流動負債	1,877	4,791	2,771
	短期借入金		1,760	
	その他流動負債	1,877	3,031	2,771
	固定負債	0	9,748	8,740
	長期借入金		9,748	8,740
その他固定負債				
純資産の部	純資産の部合計	36,650	38,829	41,291
	資本金	68,000	68,000	68,000
	法定準備金	▲ 4,000	▲ 4,000	▲ 4,000
	剰余金	▲ 27,350	▲ 25,171	▲ 22,709
	うち当期末処分損益 (当期損益)	▲ 27,350	▲ 25,171	▲ 22,709
	251	2,178	2,462	
負債の部及び純資産の部合計		38,527	53,368	52,802

## (3) 市財政支出等の状況

(決算 単位：千円)

		令和元年度	令和2年度	令和3年度
市財政支出等の合計		21,407	21,557	20,993
補助金	補助金			
	事業費補助金			
	運営費補助金			
	設備投資に係る補助金			
	負担金			
	交付金			
	委託料	21,407	21,557	20,993
	内 随意契約額※	21,407	21,557	20,993
	指定管理料（公募）			
	指定管理料（非公募）			
業務委託（随意契約）	21,407	21,557	20,993	
業務委託（その他）				
貸付金（期中借入額）				
出資・出捐金（追加額）				
その他				
貸付金残高				
損失補償契約に係る債務残高				
損失補償限度額				
その他財政援助の状況 (税や使用料の減免、建物の無償貸与等)				

## (市財政支出等がある場合) 目的、内容、必要性、増減理由等

行政情報告知を目的として、行政情報番組、緊急告知ラジオ試験放送などを制作し放送しており、広報と一体となった行政情報、緊急性の高い災害等情報は有意義と思われる。新型コロナウイルスの影響でイベントなど取りやめになった事業があり僅かに減少している。



## 5. 経営改善状況（評価指標）

※ 評価基準に満たない場合は、網掛けセルに太字斜字体が表示されます。

## （1）財務の健全性

指標		令和元年度	令和2年度	令和3年度
経常損益		394 千円	2,358 千円	2,642 千円
当期損益		251 千円	2,178 千円	2,462 千円
自己資本比率	純資産	95.1 %	72.8 %	78.2 %
	純資産＋負債			
流動比率	流動資産	1895.9 %	1013.1 %	1568.9 %
	流動負債			
固定長期適合率	固定資産	8.0 %	9.9 %	18.6 %
	固定負債＋純資産			
借入金依存度	借入金	0.0 %	21.6 %	16.6 %
	資産の部合計			
剰余金（欠損金）	純資産 －資本金（基本金）	▲ 27,350 千円	▲ 25,171 千円	▲ 22,709 千円
資金運用	基本財産としての 有価証券の保有	有	① 運用方針を明文化し、それに従って運用している。 ② 資金運用利率は市場金利の水準を確保している。 ③ 資金運用に関する情報収集に努めている。 ④ 元本割れのリスクはない。	
		無		

## （2）団体の自立性

指標		令和元年度	令和2年度	令和3年度
市職員比率	常勤職員数（市職員）	0.0 %	0.0 %	0.0 %
	常勤職員数			
財政的依存度	市財政支出	54.7 %	56.2 %	53.7 %
	経常収益＋経常外収益			
運営費補助比率	市運営費補助金	0.0 %	0.0 %	0.0 %
	経常収益			
随意契約比率	市随意契約額	100.0 %	100.0 %	100.0 %
	市委託料			

## （3）経営の効率性

指標		令和元年度	令和2年度	令和3年度
総資本経常利益率	経常利益	1.0 %	4.4 %	5.0 %
	資産の部合計			
売上高経常利益率	経常利益	1.0 %	6.2 %	6.8 %
	売上高			
総資本回転率	売上高	1.0	0.7	0.7
	資産の部合計			
職員1人当たり 売上高	売上高	7,759 千円	7,617 千円	6,509 千円
	職員数			
職員1人当たり 経常利益	経常利益	79 千円	472 千円	440 千円
	職員数			
売上高販管費比率	販売費及び一般管理費	41.4 %	36.8 %	20.7 %
	売上高			
職員1人当たり 管理費	販売費及び一般管理費	4,019 千円	2,803 千円	1,619 千円
	職員数			
人件費比率	人件費	42.2 %	35.8 %	38.9 %
	売上高			
役員人件費比率	役員人件費	16.9 %	3.4 %	0.0 %
	人件費			

(4) 経営の適正性

① 中長期計画の策定状況	
● 有	計画名称〔株式会社エフエム新津 中短期経営計画〕 計画期間 令和元年度～ 令和3年度
概要・数値目標	
<企業理念>①企業の存在意義 ②経営姿勢 ③行動規範 <計画の実行>①収支の改善策 ②営業の方法 ③組織の改変 ④番組の制作とCMの制作 ⑤放送の仕方 ⑥HPの改編、サイマルラジオの有効活用と紙媒体広報との連携 ⑦職員研修 ⑧その他 <収支の改善>令和元年度の数値目標 ①計画1 年間180千円以上の時報CMスポンサーを3件取得 ②計画2 年間120千円以上の番組スポンサーを5件以上取得 ③イベント収入の獲得 ④補助金の獲得 ⑤職員の効率的使用による人件費の削減	
	無〔 〕

② 経理の適正化の取組み			
専門家による監事・監査役就任		専門家による会計指導	
● 有	就任時期 年度～ 依頼先職種〔 〕	● 有	依頼時期 平成6年度～ 依頼先職種〔公認会計士 〕
● 無			無

③ 事務処理改善の取組み	
● 有	取組内容 27年度～ 〔 会計ソフト・顧客管理ソフト導入による計数管理・顧客管理の徹底。(平成27年度に導入済) 〕
	無

④ 人材育成の取組み	
● 有	取組内容 22年度～ 〔 随時研修を実施 〕
	無

⑤ 情報公開に関する規定の整備状況			
● 有	策定時期 平成18年度～ 規定名称 〔(株)エフエム新津情報公開規程 〕	団体ホームページ掲載	● 定款等 平成19年度～
	無 〔未整備理由 〕		● 事業内容 平成17年度～
			● 役員名簿 平成17年度～
			● 役員報酬 平成18年度～
			● 事業報告 平成17年度～
			● 損益計算書 平成17年度～
			● 貸借対照表 平成17年度～
			● 事業計画書 平成17年度～
		● 予算概要 平成17年度～	

改善対応区分  
 A: 改善対応済(引き続き継続して実施するものも含む)  
 B: 改善の取組の効果が始まっている  
 C: 改善の取組に着手  
 D: 改善の取組に向けて検討中  
 E: 今は実施せず今後の課題とする

6. 経営改善状況（個別の取組み）

（1）前年度までの評価における【改善指示事項】の改善状況

改善指示事項		緊急告知ラジオを導入している南区と阿賀野市は、秋葉区に次ぐ商圈である。情報収集、取材などを通じて出稿につなげられたい。					
改善のために取り組んだ内容		昨年から引き続き、秋葉区を中心に深い関係づくりを優先する					
取り組みによる成果		秋葉区内での新規スポンサーの獲得 秋葉区内の関係者からの紹介により南区でのスポンサー獲得					
改善・対応区分		A	B	C	D	● E	
改善に向けた取り組み 評価指標	実施事項		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	南区へのアプローチ	計画	情報収集	情報収集	情報収集	情報収集	
		実績	区役所・商工会議所・JAのコーナー開始	区役所・商工会議所のコーナー継続			
		進捗状況	【令和3年度までの達成状況及び今後の見込み】 区役所・商工会議所のコーナーの継続				
		今後の課題	【取り組み状況を踏まえた今後の課題】 しばらくは秋葉区を中心に関係づくりを行うが、既存のスポンサーには定期的にアプローチを行う				
		課題への対応	【今後の課題への対応】 秋葉区内での関係づくりが形になった後に対応する				
		五泉市へのアプローチ	計画	情報収集	情報収集	情報収集	情報収集
	五泉市へのアプローチ	実績	例年通りの受注有	例年通りの受注有			
		進捗状況	【令和3年度までの達成状況及び今後の見込み】 例年通りのスポットCMなどの受注				
		今後の課題	【取り組み状況を踏まえた今後の課題】 しばらくは秋葉区を中心に関係づくりを行うが、既存のスポンサーには定期的にアプローチを行う				
		課題への対応	【今後の課題への対応】 秋葉区内での関係づくりが形になった後に対応する				

改善指示事項		単発の投稿は増加しているが、レギュラー スポンサーの減少が収益減の一要因となっている。企画提案型の営業活動に軸足を置いて安定した顧客を獲得する。(番組の見直し)						
改善のために取り組んだ内容		過去のスポンサーの掘り起こしや、番組ゲストへのアプローチ						
取り組みによる成果		空いている時間の時報CMのレギュラー スポンサー獲得 既存番組への新規スポンサー獲得						
改善・対応区分		A	B	● C	D	E		
改善に向けた取り組み 評価指標	実施事項		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	新番組の提案型営業	計画	既存番組優先	既存番組優先	既存番組優先	既存番組優先		
		実績	新番組を1つ開始	新コーナー1つ開始				
		進捗状況	【令和3年度までの達成状況及び今後の見込み】 新コーナー1つ開始					
		今後の課題	【取り組み状況を踏まえた今後の課題】 引き続き既存番組の魅力を伝え、スポンサー獲得することを優先する					
		課題への対応	【今後の課題への対応】 引き続き既存番組の魅力を伝え、スポンサー獲得することを優先する					
	既存番組の営業	計画	新規スポンサー付け	新規スポンサー付け	新規スポンサー付け	新規スポンサー付け		
		実績	4番組新規スポンサー獲得	新規スポンサー1社・新規時報CM2社				
			進捗状況	【令和3年度までの達成状況及び今後の見込み】 既存番組への新規スポンサー1社 空いていた10時と19時時報の新規スポンサー獲得				
			今後の課題	【取り組み状況を踏まえた今後の課題】 提供の無い番組へのスポンサー付け 既存スポンサーの継続依頼				
		課題への対応	【今後の課題への対応】 引き続き番組ゲストへのアプローチや、スポンサー付けキャンペーンなどの企画での獲得を目指す					

改善指示事項		中短期計画（3か年）に基づく実行。						
改善のために取り組んだ内容		経費など支出の削減・見直し						
取り組みによる成果		昨年以上の黒字を計上						
改善・対応区分		A	B	● C	D	E		
改善に向けた取り組み 評価指標	実施事項		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	収益向上計画	計画	実施・評価	実施・評価	実施・評価	実施・評価		
		実績	実施・評価	実施・評価				
		進捗状況	【令和3年度までの達成状況及び今後の見込み】 スポンサー付けキャンペーンなどによる新規スポンサー獲得で黒字額を増加することができた					
		今後の課題	【取り組み状況を踏まえた今後の課題】 設備関係に係る経費の見直し					
		課題への対応	【今後の課題への対応】 随時経費の見直しやスポンサーの獲得・維持					
	中長期計画	計画	実施・評価	実施・評価	実施・評価	実施・評価		
		実績	実施	実施				
			進捗状況	【令和3年度までの達成状況及び今後の見込み】 企業の存在意義を意識した経営 経費の見直し				
			今後の課題	【取り組み状況を踏まえた今後の課題】 放送の質・技術の向上 支出の見直し				
		課題への対応	【今後の課題への対応】 災害時対応研修実施・継続 収支の改善					

改善指示事項		BCP（事業継続計画書）の実行。				
改善に向けた取り組み 評価指標	改善のために取り組んだ内容	災害時の対応研修の実施				
	取り組みによる成果	災害は実際に起こっていないが、起きた時の為の社員の心構えの上昇				
	改善・対応区分	A	B	● C	D	E
	実施事項	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	BCP作成	計画	実施・評価	実施・評価	実施・評価	実施・評価
		実績	実施	実施		
	進捗状況	【令和3年度までの達成状況及び今後の見込み】 計画に基づき達成している				
	今後の課題	【取り組み状況を踏まえた今後の課題】 引き続きの実行				
	課題への対応	【今後の課題への対応】 引き続きの実行				

改善指示事項		同業他社と比較しての利点を、SNSなどを活用して積極的に情報発信し、営業活動につなげる必要がある。				
改善のために取り組んだ内容		積極的なFacebookの活用、ホームページの更新				
取り組みによる成果		数値的な成果にはまだ繋がっていない				
改善・対応区分		A	B	C	D ● E	
改善に向けた取り組み 評価指標	実施事項		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	スポンサー獲得活動	計画	既存番組のスポンサー付け	既存番組のスポンサー付け	既存番組のスポンサー付け	既存番組のスポンサー付け
		実績	実施	実施		
		進捗状況	【令和3年度までの達成状況及び今後の見込み】 社員全員でのFacebookの活用、更新頻度の増加			
		今後の課題	【取り組み状況を踏まえた今後の課題】 SNSを通じての関係構築			
		課題への対応	【今後の課題への対応】 積極的なFacebookの活用や、そこからの関係づくり			
	認知度を上げる 取組み	計画	SNS・HP・ステッカー掲示・サイマルラジオによる情報発信	SNS・HP・ステッカー掲示・サイマルラジオによる情報発信	SNS・HP・ステッカー掲示・サイマルラジオによる情報発信	SNS・HP・ステッカー掲示・サイマルラジオによる情報発信
		実績	実施	実施		
		進捗状況	【令和3年度までの達成状況及び今後の見込み】 Facebook・HP・観覧スペースにスポンサー名の掲示 関係づくりのための定期的な挨拶文郵送やメール配信			
		今後の課題	【取り組み状況を踏まえた今後の課題】 引き続きの聴いてもらうための仕組みづくり			
	課題への対応	【今後の課題への対応】 ボランティア情報提供パートナーへの定期挨拶メールやスポンサーなど地元事業所への定期挨拶文郵送による関係づくりを続ける				

改善指示事項		他地域のFM局の成功事例について、情報収集、分析し、経営に活用していくことが必要である。				
改善に向けた取り組み 評価指標	改善のために取り組んだ内容	同業種・異業種間での情報収集や交流				
	取り組みによる成果	定期的な情報収集や研修への参加は行っているが、実際に経営への反映までには至っていない				
	改善・対応区分	A	B	C	●	D
	実施事項	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	計画	—	延べ30回	延べ40回	延べ40回	
		—		7月1日までに延べ24回		
	実績	【令和3年度までの達成状況及び今後の見込み】 定期的な情報収集や研修への参加				
進捗状況	【取り組み状況を踏まえた今後の課題】 得た情報などを実際に経営に反映させる					
今後の課題	【今後の課題への対応】 情報の精査・分析					
課題への対応						

改善指示事項		リスナーの獲得などを目的にSNSを活用しているものの、活用効果を測定する成果指標を設定するなど、分析や改善ができる仕組みが必要である。				
改善に向けた取り組み 評価指標	改善のために取り組んだ内容	Facebookを社員全員で活用し、更新頻度も増加				
	取り組みによる成果	フォロワーの増加により、エフエム新津の認知に繋がったと感じる				
	改善・対応区分	A	B	C	●	D
	実施事項	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	計画	—	600人	700人	750人	
		—		7月1日現在625人		
	実績	【令和3年度までの達成状況及び今後の見込み】 令和3年度末時点での集計は取っていなかったが、順調にフォロワーが増加している				
進捗状況	【取り組み状況を踏まえた今後の課題】 閲覧者がどんな内容に興味を持っているかなど、分析をして放送内容に反映させる					
今後の課題	【今後の課題への対応】 引き続きの頻繁な更新と定期的な分析					
課題への対応						



## 7. 評価の結果

## 【団体の評価コメント】

財務の健全性	昨年から続く新型コロナウイルス感染症の影響を令和3年度も受けたが、スポットCM増加などでカバーすることができ、増収となった。
団体の自立性	広域放送局とは違う、地域密着を主とした役割を果たし、地元の発展に貢献したい。
経営の効率性・適正性	不必要なものを見極め経費の見直しをさらに進め、費用対効果を考えた効率の良い業務をしていきたい。
その他	第一の使命である災害・防災情報の発信がより多くの方に届くよう、平時から多くの方に放送を聴いていただく仕組み作りに尽力する。

## 【新たに改善を要する事項】 ※「6. 経営改善状況」に記載のもの以外で改善を要する事項を記載

今後改善を要する事項		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
評価指標	実施事項				
	計画				
	実績				
	今後の課題	【取り組み状況を踏まえた今後の課題】			
	課題への対応	【今後の課題への対応】			

## 【団体による総括的な評価】

一昨年からの経営陣による経営改革が昨年以上に数字に表れた年であった。次年度以降も更なる放送の質、収支の改善に努めていきたい。

## 【所管課による評価】

昨年に続き黒字を計上し、増益となった。設備投資協賛依頼などの営業活動や経費の削減などの成果と思われる。しかし、市への財政的依存度が依然として高いため、秋葉区における地域コミュニティ放送局として組織力、営業力、地域力の高い組織となるよう引き続き支援していく。また、地域コミュニティ放送の強みを生かし、地元が必要とされる放送局を目指し、引き続き指導を行っていく。